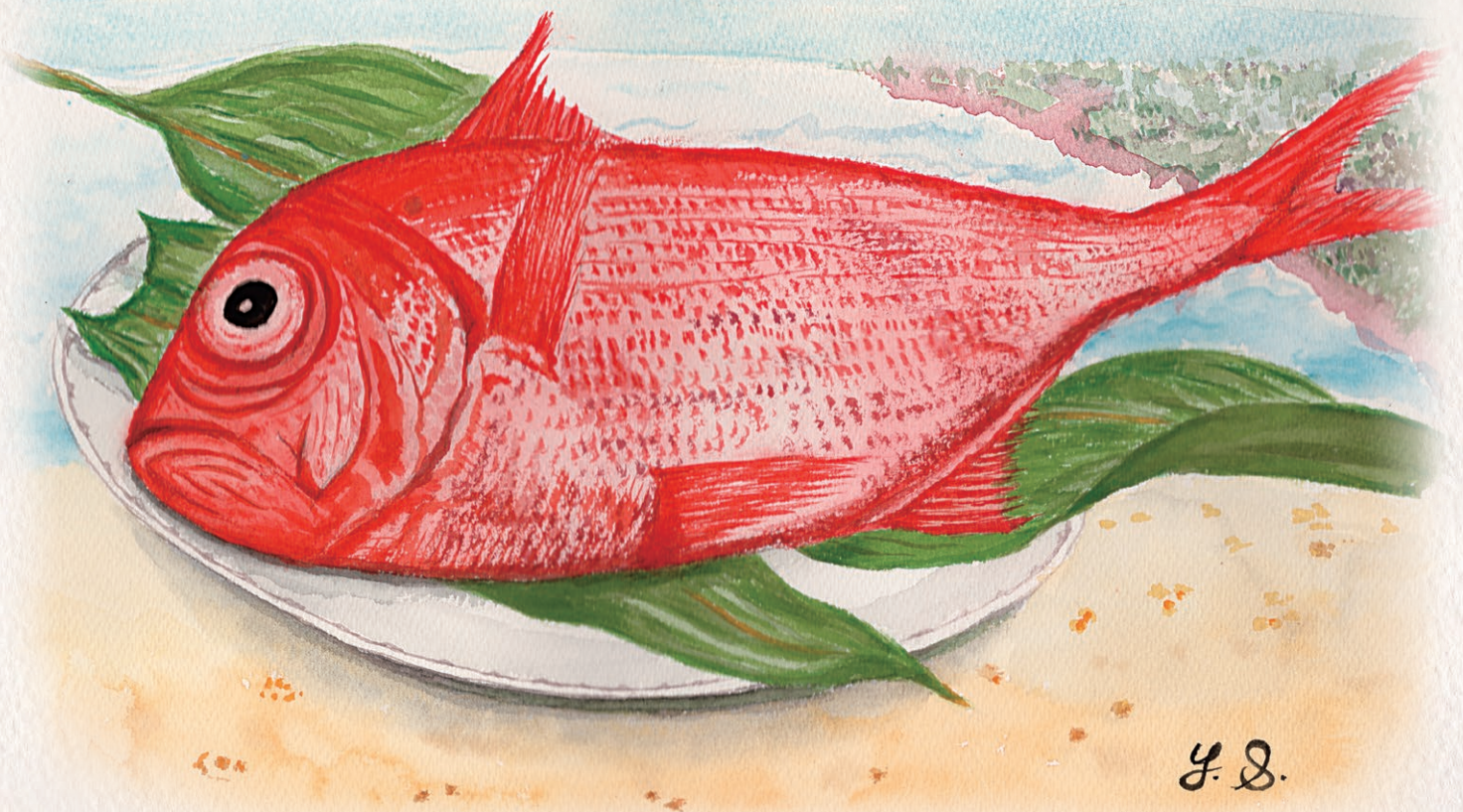


「**ま**いたに」と「**め**ふ」をつなぐ、米谷自治会広報誌

マメダヨリ

「たからづか防災マップ」
活用ガイド



コロナの激震 めでたく(鯛) 乗り越えて
幸せの源は 健康と笑顔 (水彩画) 榊原 裕さん(10組)

No.29 / 2020 冬号

いざという時に、
あわてないために

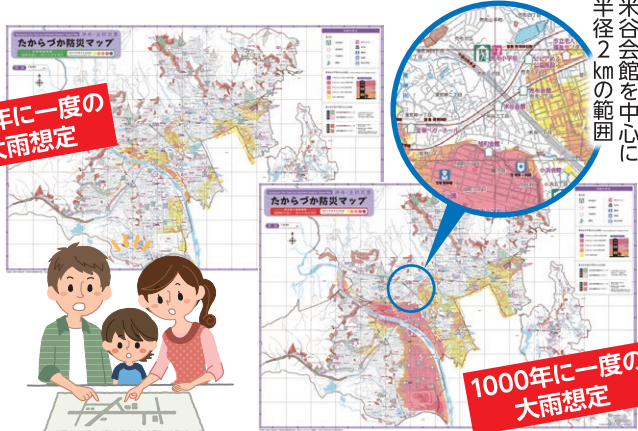


たからづか防災マップ 活用ガイド

ステップ
1

地図を見て 自分の住んでいる 場所を知ろう

100年に一度の
大雨想定



米谷会館を中心に
半径2kmの範囲

1000年に一度の
大雨想定

地図面は「100年に一度」「1000年に一度」の大雨を想定し、土砂災害や洪水の危険箇所（ハザード）を、浸水の深さをもとに色別で表しています。指定避難所やすみれ防災スピーカーの位置も掲載しています。お住まいの地域の危険度をチェックしましょう。また、避難経路に危険な箇所がないかも確認しましょう。

ステップ
2

避難場所や 避難時の心得を 確認しておこう



記事面では新しい生活様式を取り入れた避難の注意点（マスクや手洗いなど）のほか、5段階の警戒レベルに分けた避難情報について解説しています。避難の種類や避難場所など、事前に再確認しておきましょう。緊急時の連絡先一覧や防災情報の入手先など、役立つ情報も満載です。

ご注意



新型コロナウイルス感染症の予防を徹底するため、風水害が予想される際、**避難情報発令前に開設する自主避難所**は、米谷自治会エリアの場合は**宝塚小学校**です。売布小学校ではありませんのでご注意ください。（開設は安心メールや市ホームページで確認できます。）



外出自粛などでご自宅で過ごす時間が増えた昨今。時にはゆったりと日本の伝統文化に触れてみてはいかがでしょうか。今回は小唄・三味線のお師匠さんの庄司永子さんに、江戸小唄の世界について伺いました。また、愛用の三味線や小道具、唄本なども見せていただきました。

大阪で商売をしている家に生まれ育った永子さん。長唄を習っている（後に小唄へ転向された）お母様のお稽古を聞きながら大きくなったそうです。小さい頃から日本舞踊やその他色々、お稽古をさせてもらっていたのですが、結局どれも続かず、お母様と同じ小唄に落ち着いたそうです。小唄はお母様に教えてもらったそうで、今はそのお母様を思い出しながら、お稽古に励んでいるそうです。



後世に伝えたい 江戸の粋

小唄・三味線師匠 庄司 永子さん

「たからづか防災マップ」がリニューアル!

新聞紙(ブランケット版)と同じサイズで市全域地図をまとめて見ることができ、防災記事の文字も大きくなり、より使いやすくなりました。米谷自治会では、この最新マップを各ご家庭に配布しています。ぜひご活用ください。



市役所の
総合防災課(2階)
市民相談課(1階)
各サービスセンター・
ステーションでも
配布しています

ステップ 3

「マイ避難カード」を記入してみよう

家族全員での
事前の話し合いが大切です。
記入例を見ながら、家族みんなで
「マイ避難カード」を作ってみましょう。



これも重要!

災害から命を守るためには、デマに流されず、正しい情報を自ら知ることが大切です。
日頃から情報をチェックする習慣を身につけましょう!

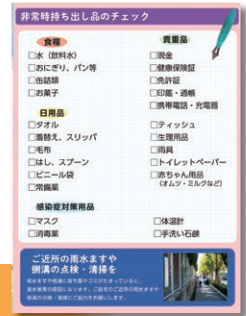
※詳しくは、たからづか防災マップの「自ら調べよう! 防災情報のチェック」の項目をご覧ください。



ステップ 4

非常持出品のチェックをして必要なものを揃えよう

家族構成や避難先の状況によって持出品は変わってきます。
本当に必要なものを書き出し、すぐに持ち出せるように用意しておきましょう。



ステップ 5

もしもの時にすぐに使えるように備えよう

重要

三味線の演奏に合わせて唄われる楽曲は様々ですが、呼吸法や弦を押さえる指使いなど、共通するところもたくさんあるそうです。唄い方にもコツがあり、下腹部に力を入れた発声により、喉を痛めず語るように唄うことができるのだそうです。

小唄の詞の内容は遊里・遊女物、芝居物、役者物、諷刺・洒脱のきいたものなど「江戸の粋」を歌ったものが数多くあります。大正～昭和期の日本画家、伊東深水氏作詞の「辰巳よいとこ」は、男名を名乗り、羽織を着て、素足で歩く辰巳芸者の清々しさを唄ったもの。わずか4行の短い詞の中に、さりげなく「粋」が込められています。

永子さんは現在もお弟子さんを取り、ご自宅や芦屋、北浜の教室で教えているそうです。中にはお母様の代からお稽古にいられているお弟子さんも2人いらっしゃるとのこと。しかし、近年は百貨店でも和のアイテムの取り扱いをやめてしまった店舗が増えるなど、日本の伝統文化が失われつつある現状を少し寂しく思われているそうです。「昔は企業さんへ出張稽古にもよく行きましたよ。いい時代でしたね。」と華やかだった昭和の頃を振り返ります。

江戸時代から唄い継がれてきた日本の粋。お弟子さんたちを通じて、絶やすことなく後世に受け継いでもらいたいですね。

辰巳よいとこ
素足があるく
羽織やお江戸のはこりもの
八幡鐘が鳴るわいな



三味線の駒と弦
駒は長唄用(左・象牙)と小唄用(右・木製)



「爪弾き」を実演していただきました。

三味線の3本の弦で表す小唄の譜面。随所に情景をイメージした写真や挿絵が散りばめられています。



10/11^① 売布神社清掃

お天気が心配されていましたが、晴天の中、無事に売布神社清掃を行うことができました。米寿会より20名、青年團より10名、わかば子供会より親子含めて13名の計43名の参加でした。ゴミなどは少なく、草抜きを中心に短時間で、皆さん集中して作業していただきました。幅広い年齢の方と触れ合える、よい機会となりました。



アライグマにご注意ください！

自治会会員さんのお宅で、アライグマの被害がありました。アライグマを発見しても、むやみに近づかず、離れるようにしてください。くれぐれもご注意をお願いします。

●ご相談・ご連絡は
宝塚市役所 0797-71-1141 (代表) または
農政課 0797-77-2036 まで



10/18^① 売布神社例祭の儀と だんじり展示



売布神社にて午前8時より例祭の儀が行われました。今年は、コロナ禍ということで、だんじり曳行は中止されましたが、朝から蔵出しされただんじり2台が展示され、祭囃子が賑やかに打ち鳴らされていました。通常なら五穀豊穣に感謝の秋祭りとなるところですが、併せて祝詞のなかで、疫病退散祈願も神主さんは読まれていました。

「見守り活動」を通じて 気付いたこと

2017年12月より売布小学校児童の下校時の見守り活動を開始して早や3年。開始当時はごちなかつた挨拶も、今では元気に「さよなら」と言える子どもたちが増えました。おしゃべりに夢中な子もいますが、ねぎらいの言葉をかけてくれる子も！(嬉しい♪)

見守り側も道路環境に気を配るようになり、横断旗の設置管理、グリーンベルトの設置、カーブミラー設置状況の確認、見通しを阻害する駐車場の雑草の除去要請など、少しずつ改善を図っています。

一方で、道路交通法を忘れてしまっている要注意な車が少なからず確認されています。交差点とその端から5m以内は駐車禁止です。右左折の30m手前からウinkerを出すのはなぜ? 一時停止線で一旦止まる理由は? 等々すべて交通の安全や円滑化を目的に決められています。なぜそうになっているのか、考えて(調べて)みるのが重要で、安全運転に繋がります。曲がり出してからウinkerを出すこともなくなるでしょう。

編集後記

「まめだより」29号、おめでとう。いつまで続くかと思っていたら、7年間! 頑張ったね。さあ、次の目標はとりあえず30号だよ。

